リーディングDXスクール事業 【実践事例】

旭川市立緑が丘小学校（北海道）【指定校】

【取組内容】 情報の時間の編成

4 年「情報の時間」年間指導計画

月	時数	単元名・活動	学習活動の視点から見た情報活用能力							
			基本操作	情報を主体的に収集・選択し，工夫し活用する力				情報社会に主体的に参画する態度／情報モラル（デジタル・シティズンシップ教育）		
			○学習に必要となる情報機器やアプリケーションの基本的な操作方法などを習得する。	○問題を解決するために必要な情報を集める。 ○情報を整理し、解決への見通しをもつ。 ○紹介や説明、報告、意見や提案、主張など、自分の考えを情報機器等を活用して話したり、書いたりする。				○クラウドサービス、SNS、ブログ等、相互通信を伴う情報手段に関する知識及び技能を身に付ける。 ○情報を多角的・多面的にとらえたり、複数の情報を基に自分の考えを深めたりする。		
			知識及び技能	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
			端末・アプリ	見通し 情報収集	整理 表現・発信	情報の読解	評価・改善	ルール・マナー・権利	情報の判断・適切な活用	情報社会に対する価値観・態度
			・学習に必要となる情報機器やアプリケーションの基本的な操作方法などを習得している。	・目的を意識して、調査や資料等により情報が収集できる。	・表やグラフなどを用いて、情報を整理できる。 ・相手や目的を意識して、表現し、伝えることができる。	・複数の資料の中から、目的に合った情報を選択できる。 ・情報の全体的な特徴や要点や、情報同士のつながりを捉えることができる。	・情報活用を振り返り、改善点を見つけることができる。	・自分の情報や他人の情報の大切さが理解できる。	・インターネット（クラウドサービス含む）上などにある情報が正しいかどうか判断し、活用できる。	・情報の発信や情報をやりとりする場合にも、ルールやマナーがあることを踏まえ、行動しようとしている。
5	1	**「めざせ！撮影名人」** 目標：写真や動画をより上手に撮るためのスキルや、ネットの特性(記録の保存・拡散・複製)に留意しながら自分や他者の権利を守ることについて考える。 ※国語(アップとルーズで伝える)との連携 ○どのように写真を撮ればよいのだろう？ ○写真からわかる情報は？ ○許可が必要な写真について ※民間教材の活用【[redacted]】	◎	○				◎	◎	◎

○情報活用能力の育成に向けて情報について学ぶ時間を設け，各学年の年間指導計画を作成した。

○3～6年生は総合的な学習の時間で，1・2年生は生活科や学級活動を主に活用し，今年度は年間10時間で試行した結果，教員が，学年間の系統性や教科横断的なカリキュラム・マネジメントの必要性をより意識するるようになった。

【上表を基に撮影スキルの向上と情報の拡散リスクについて学習した例】

○４年国語の説明文教材と関連させながら，相手に伝えたい内容を意識して被写体をアップやルーズで撮影する効果を実感させた。また，１枚の写真から読み取ることのできる個人情報がSNS等で拡散された場合の被害について考えさせ，写真を撮影する際の注意事項も意識させるようにした。